

大空に舞うこいのぼりに 願いをこめて

子どもたちの健やかな成長を願い、「こいのぼり掲揚式」が4月27日、町役場前駐車場で行われ、西原白百合保育園、さわふじ保育園、小川保育園の園児約100名が参加しました。園児らは、町長と一緒にこいのぼりを掲げると歓声をあげ、空高く泳ぐこいのぼりのように元気に歌を歌ったり、おゆうぎをしたりしました。



ヤクルト創業者の「代田稔博士」生誕110周年を記念し、沖縄ヤクルト株式会社（川満廣政社長）から4月24日、町立幼稚園、町立小・中学校へ約4,200個のヤクルトの贈呈がありました。児童代表として受け取った坂田小6年1組の大兼佳那子さんは「ヤクルトがもらえて嬉しい」と話し、比嘉喜彦常務取締役（写真右）は「子どもたちが健康になるように作られたヤクルトをかみしめながら飲んでほしい」と話していました。



我謝公民館前にて 「はい菜市」開催中！

地元でとれた野菜や花を安く販売する「はい菜市」が、我謝公民館前で、第1・第3土曜日の朝9時から開かれています。地元や通りかかった客にも好評で、11時には品薄になるほど。運営は我謝出身のメンバーで構成されている「我謝はるさぁ〜会」で、会長の平良正行さんは「無農薬を目指し、安心して新鮮な野菜を提供したい。地域の活性化にもなれば」と話していました。



まちの話題

町子どもまつり盛況！

『ありがとう つたわる ところが うれしいよ』（平成21年度児童福祉週間標語）をテーマに、「西原町子どもまつり」（町保育連絡協議会主催）が5月9日、町中央公民館で開催され、多くの親子が参加しました。親子で楽しむファミリーコンサートでは、子どもたちが元気よく踊ったり、歌ったりしていました。また、ぬいぐるみ劇「3びきの子ぶた」も演じられ、夢中になって見入っていました。今回は、心肺停止の救命に有効なAED（自動体外式除細動器）が町内の全認可保育園・町立保育所に設置されたことから、応急処置やAEDの使い方も学びました。



世代間交流を深めよう

県民踊研究会西原町支部（新川千代子支部長・町老連民踊サークル、町民踊研究会、町子ども民踊サークル）による「三世代交流会」が5月9日、町中央公民館調理室で行われ、50名余が参加し、交流を楽しみました。核家族が進むなかで、子どもたちの敬老精神を養うとともに、孫世代との接点が薄れている高齢者には、積極的に子どもたちと関わりをもってもらうことが目的。今回は高齢者や親世代が、子どもたちにじゃがいものむき方や野菜の切り方などを教えながら、カレー作りをとおりて交流を図りました。



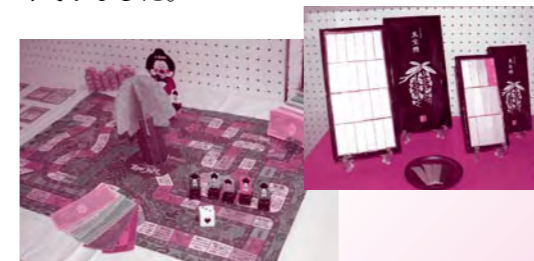
食生活改善推進委員に香囀状交付

食を通して健康づくりを推進する町食生活改善推進員の委嘱状交付式が4月17日、町役場で行われました。今回は、平成20年度食生活改善推進員養成講座を終了した5期生10名が加わり、現在活動している推進員は、64名になりました。上岡町長は「正しい食事の摂り方、食育を推進してください」と激励し、城間恒子会長は「自分達の健康は自分達で守るをモットーに、地域の健康づくりを推進したい」と話していました。



芸大生が西原町の特産品を提案

西原町をテーマに、県立芸術大学デザイン専攻3年生が特産品を提案した展示会「西原町のあたらしいかたち。」の発表が4月25日、町中央公民館で行われました。これは授業の一環で、5グループに分かれて共同研究を行い、①特産品を開発する拠点やカフェを備えた施設、②質・パッケージにもこだわった高級黒糖、③小さくかわいい形をした黒糖、④遊びながら町の歴史や文化が学べるすごろく、⑤サトウキビなど町の特産品を素材にした西原文具の5つが提案されました。学生らしく自由な発想で、新しい視点から取組んだ商品に、会場から高い評価を受けていました。



沖縄森永乳業の新工場が稼働

東崎に完成した沖縄森永乳業株式会社（蜂谷義一社長）の新社屋・工場の落成式が4月16日、同社で行われました。工場は高品質、安全性、生産性を重視し、処理能力は年間約4万トン。賞味期限の延長が可能になるE S L製法を導入し、最新の設備で牛乳、乳飲料、清涼飲料などが生産されます。同社は本町への移転に伴い、西原町地域総合整備資金貸付事業を活用し、10名の雇用が創出され、今後も雇用の拡大が期待されます。



人材育成支援事業にご協力を

町内の小中学校へ図書や海外短期留学制度への助成など、各種支援活動を行っているNPO法人西原町人づくり支援の会（新川武雄理事長）が4月17日から3日間、サンエー西原シティで「第12回チャリティー展示即売会」を開催しました。絵画や陶器、革製品や書など約300点が展示・即売され、多くの来客が作品を買い求めていました。入会申込先は☎090-1516-3783（波平）まで。



「梅の香り」を熱唱！

第7回「梅の香り」うた遊び大会（「梅の香り」歌碑建立記念事業委員会、小那覇自治会主催）が5月2日、小那覇児童公園特設会場で開かれました。この大会は小那覇出身の音楽家、故新川嘉徳氏が作詞作曲した民謡「梅の香り」を歌い競いあうもので、出演者らの熱唱に、会場からは盛大な拍手が送られました。今大会の最優秀賞には、金城優里英さん（那覇市）が選ばれました。

